

上ノ国風力発電所(仮称)計画について



上ノ国風力発電所は地球温暖化防止に貢献する新エネルギーを利用した事業として、電源開発株式会社が上ノ国八幡牧野エリアに出力約28,000キロワットをつくる計画です。この施設が稼働することにより、一般家庭約20,000世帯分の電気を作ることができます。地域の資源である風のちからを、エネルギーに変える取り組みです。

電源開発株式会社は平成21年7月に縦覧した方法書に基づき、環境影響調査を行いました。調査の結果についての詳細を記載した「環境影響評価書案」を、9月1日～30日までの1ヶ月間、上ノ国町役場の閲覧コーナーと江差町役場にて公開していますので、どなたでも閲覧することができます。

お問合せ先：上ノ国町総務課 企画統計グループ

事業概要

位置 上ノ国町八幡牧野地内
 風車 定格出力27,996キロワット(予定)
 (2,333キロワット/基×12基予定)
 送電線 北海道電力(株)江差変電所へ連系

事業者概要

電源開発株式会社(東京都中央区銀座6-15-1)
 1952年9月、電源開発促進法に基づき電気事業を促進するための国策会社として設立。
 2004年10月東証1部上場。
 風力発電事業については、全国16ヶ所で運営しています。

農地パトロール8月24日実施
 (作況調査も行いました)

耕作放棄地の様子



作況調査の様子

これまで農業委員会で実施してきた農地パトロールの取り組みについては、法律上の義務はありませんでしたが、昨年の農地法改正により、毎年1回、農地利用状況調査の実施が義務づけられ、遊休農地の把握、指導・勧告などの業務が新たに加わったところがあります。

農地パトロールによって確認・把握した耕作の目的に供されていない農地、無断転用農地、投棄等の不適切な農地などの実態については、北海道農業会議へ報告するとともに、問題点と課題の整理を行い、その活用方法や是正指導など、今後の対応方針について協議します。

また、作況について、水稲は、いもち病と不稔の発生が一部で確認されているものの、平年以上の作柄となっています。

農業委員会だより

お問い合わせ 上ノ国町農業委員会
 Tel 55-2311 内線 242

「さといも」栽培の現地研修

檜山振興局では、檜山に適した新たな作物の導入に向けた検討・実証を平成21年度から23年度までの期間で実施しています。昨年からは、4戸の農業者が「さといも」の試験栽培に取り組み、今年は、新たに3戸の農業者が取り組むこととなりました。栽培の経過や今後の課題などを把握するため、8月19日に町内3ヶ所と同振興局農務課や農業改良普及センターなど関係機関・団体による現地検討会が行われました。町では、農作業の少ない時期での収入確保対策として期待しています。



研修を行っている様子

